

「存在する意義」

2019年度 JC運動推進室

副理事長 川崎 耕平

尾道青年会議所における、存在意義とはなんなのでしょうか？

我々を ENGINE として例えるならば、その大きな動力を動かすエネルギーとなるのは、地域においてなくてはならない存在意義や価値であり、それには共感と賛同、そして我々の運動への参画だと思えます。

そのためには、

我々が地域や賛同者から何をして貰えるかを問うのではなく、我々が地域や賛同者に何ができるかを問うべきであり、それはJC運動を推進するなかでは当たり前のことだと誰もが認識しているはずでしょう。

ただ、そんな当たり前なことを“個”ではなく“組織”として、とことんやり続けること、発信し続けることは、一見容易に思われますが、それは大変困難なことであります。

63年前、諸先輩方が発足された尾道青年会議所には、存在する意義や理由があり、その価値が地域に認められ続け、今日の我々があるのだと思えます。

JC宣言文の中にある、“混沌という未知の可能性を切り拓き”、今こそがまさにその時であります。答えはどこにも示されてはおりません。また時代の変化は我々の意思に関係なく、どんどん進んでいきます。

そんなパラダイムシフトの時代を生き抜くためにも、今一度我々が存在する意義を確認し合い、変えるもの、変えないものを意識していきましょう。

いつの時代も我々の情熱が、ひと、まちを動かしてきています。特効薬はありません。王道を行きましょう。一途に一心に地域のため、仲間のために私達が課題を自ら設定し解決策を考えましょう。